2010 年東大理 5 文 4 共通

A(1,0) としても一般性を失わない。

このとき、 $P(\cos mt, \sin mt)$, $Q(\cos t, \sin t)$, $R(\cos 2t, -\sin 2t)$ と置ける。

PRが斜辺になるとき、PRは円の直径に一致するから、

 $PR^2 = (\cos mt - \cos 2t)^2 + (\sin mt + \sin 2t)^2 = 2 - 2(\cos mt \cos 2t - \sin mt \sin 2t) = 2 - 2\cos(m+2)t = 4$ $\therefore \cos(m+2)t = -1$

 $\overrightarrow{OQ} \perp \overrightarrow{OR} \downarrow \emptyset \overrightarrow{OQ} \cdot \overrightarrow{OR} = 0 \circlearrowleft$, $\cos t \cos 2t - \sin t \sin 2t = \cos 3t = 0$

$$0 \le 3t \le 6\pi \ \ \ \ \ \ \ 3t = \frac{\pi}{2}, \frac{3}{2}\pi, \frac{5}{2}\pi, \frac{7}{2}\pi, \frac{9}{2}\pi, \frac{11}{2}\pi \quad \ \ \therefore t = \frac{\pi}{6}, \frac{\pi}{2}, \frac{5}{6}\pi, \frac{7}{6}\pi, \frac{3}{2}\pi, \frac{11}{6}\pi$$

①より、 $(m+2)t = (2k+1)\pi$ と書ける。 $3 \le m+2 \le 12$ より

$$t = \frac{\pi}{6}$$
 $\emptyset \ge 3$ $m+2 = 6(2k+1)$

m+2 は6の奇数倍である。 m+2=6 : m=4(k=0)

m+2 は 2 の 奇数倍である。 m+2=6,10 : m=4(k=1),8(k=2)

$$t = \frac{5}{6}\pi$$
 のとき $5(m+2) = 6(2k+1)$ 5 と 6 は互いに素である。

2k+1 は 5 の 奇数倍 であるから、m+2 は 6 の 奇数倍 である。 m+2=6 $\therefore m=4(k=2)$

$$t = \frac{7}{6}\pi$$
 のとき $7(m+2) = 6(2k+1)$ 7と6は互いに素である。

2k+1は7の奇数倍であるから、m+2は6の奇数倍である。 m+2=6 : m=4(k=3)

$$t = \frac{3}{2}\pi$$
 のとき $3(m+2) = 2(2k+1)$ 3と2は互いに素である。

2k+1は3の奇数倍であるから、m+2は2の奇数倍である。 m+2=6,10 : m=4(k=4),8(k=7)

$$t = \frac{11}{6}\pi$$
 のとき $11(m+2) = 6(2k+1)$ 11と6は互いに素である。

2k+1は11の奇数倍であるから、m+2は6の奇数倍である。 m+2=6 : m=4(k=5)

以上により

$$\therefore (m, t) = \left(4, \frac{\pi}{6}\right), \left(4, \frac{\pi}{2}\right), \left(4, \frac{5}{6}\pi\right), \left(4, \frac{7}{6}\pi\right), \left(4, \frac{3}{2}\pi\right), \left(4, \frac{11}{6}\pi\right), \left(8, \frac{\pi}{2}\right), \left(8, \frac{3}{2}\pi\right) \cdots (28)$$